



八幡小だより

山鹿市立八幡小学校

令和5年度学校だより No.14

R5.12.1 (金) 発行 校長 森 每恵

強く正しく明るく

校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」
目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」
児童会スローガン「笑顔・協力・挑戦！ やさしさいっぱい 考動できる八幡っ子」

5年生 保育園児の皆さんと稲刈り

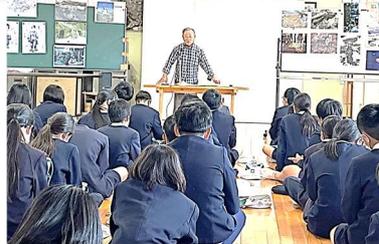
大変よい天気にも恵まれJA かもとの皆様のご協力の下今年も実りの秋にもち米を収穫した5年生。来年1年生になる年長さんとペアを組んでの収穫活動です。優しく手を添えて励ましながら、褒めながら、活動する5年生の姿に思わず笑みがこぼれました。とても素敵なお八幡っ子の姿でした。



6年生：学びを修める「修学旅行」

平和の大切さや命の尊さについて 深く考えました

11月7日、8日の2日間に長崎、佐賀を訪問しました。長崎では語り部の池田松義さんから、戦争により7歳で家族を亡くし、焼き場で家族を茶毘(だび)にふしたこと、たった一人残り、親戚の家や児童養護施設を転々としながら子ども時代を過ごしたこと、命を大切に努力を惜しまず生き抜いてきたこと等のお話をうかがいました。



そして講話の最後には子どもたちに「限られた大切な人生の時間をゲームなどに費やすのではなく自分のために努力をする時間として使ってほしい」「先生や家族の方が皆さんのためを思って言うことに感謝し、素直に聞き入れられる人になってほしい」とメッセージを贈られました。



この2日間、6年生の子どもたちのキラリと光る姿も多く目にしました。誰に対しても挨拶やお礼をきちんと伝えられる子、友達に寄り添い励ます子、互いに声かけ注意する姿、できなかったところを改善しようとする姿、真剣に学ぶ姿。



中学校進学へ向けて、さらに自覚を高め、仲間と強い絆で結ばれるように関係を深めていってほしいと思います。



修学旅行中の子どもたちの様子は、6年生保護者の皆様に現地から安心メールで7回ほど配信しました。

4年生：子ども認知症サポーター講座で学ぶ

総合的な学習の時間に「福祉」について学びを重ねている4年生。今回は、認知症について正しく理解し、「人はみな病気や障がいがあっても、個人の尊厳が守られる尊い存在である」という人間観を育むことを目標に授業が展開されました。今年も「やたま会」をはじめ、地域総括センター、やまがサポーター、介護支援事業所、地域ボランティアの皆様、総勢20人以上が来校してくださり、ワークショップでは、「旅のことば」という40枚のカードを用いて自分事として考えていく活動に取り組みました。



自分の体を大切に！～目の愛護デーの取組

10月10日の「目の愛護デー」にちなみ、児童の発達段階に応じて、養護担当の濱崎先生が目のしくみや目を守る行動等について担任の先生と授業を行いました。授業後のワークシートに、田中みどりさんは「8時30分からはスマホ禁止」という家のルールがあることを、西川ちゆきさんは目を大切にするために「スマホやゲームは暗い場所でせず、休憩を取ることや早寝早起きをする」と等について綴っていました。



給食試食会 お世話になりました

PTA 家庭部の企画で今年も1年生保護者対象の給食試食会を実施しました。「地産地消の給食、とてもおいしかったです。」「だしはインスタントではなく、きちんと取られていて驚きました」等の声を寄せていただきました。学校給食では、必要カロリーを摂取することはもとより栄養バランスのとれた、季節感のある献立や郷土の味に慣れ親しむ献立を工夫しています。

授業参観・PTA 教育講演会・学級懇談会 お世話になります

明日は寒さが見込まれます。十分な防寒対策をお願いします。また、インフルエンザ流行期に当たり、不織布マスクの着用についてもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いします。